

弦楽四重奏の未来型 モルゴーア・クアルテット

日本を代表するオーケストラの首席奏者で編成したモルゴーア・クアルテット。

熟練した音の職人とも言える彼らが奏でる

大胆かつ繊細なハーモニーが、弦楽四重奏の輝ける未来を築く。

Program

【ベートーヴェン】
L.v.Beethoven

弦楽四重奏曲 第2番
ト長調作品18-2
String Quartet No.2
in G-major op.18-2

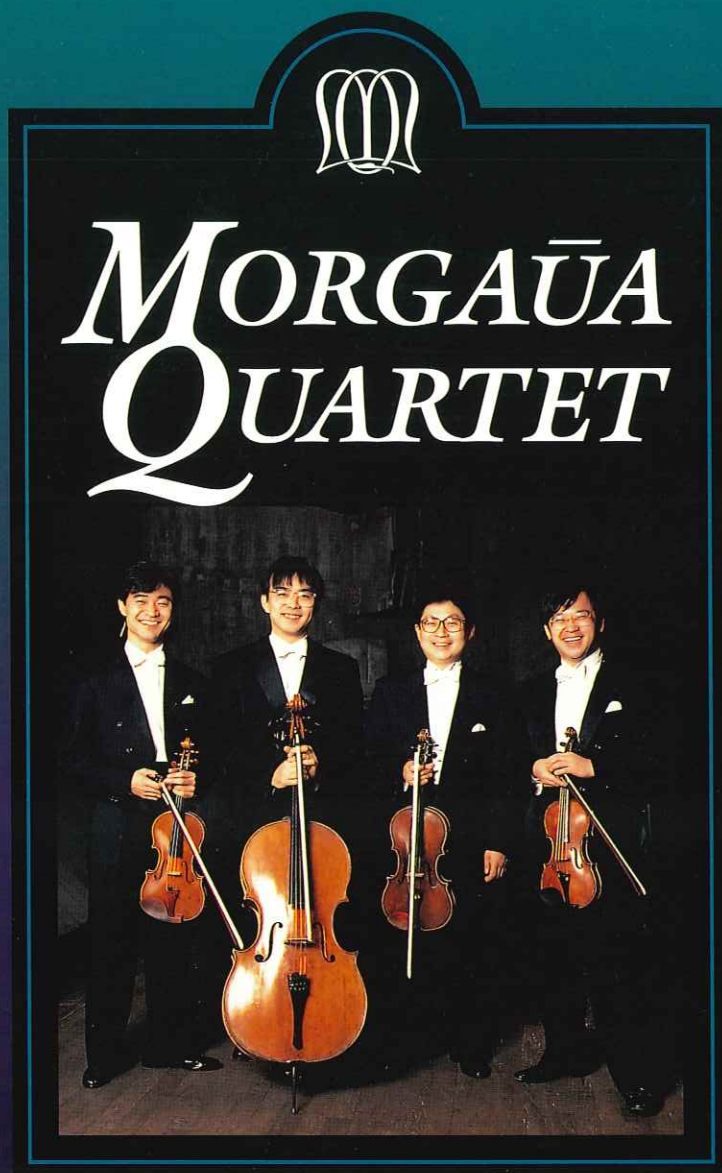
【ショスタコーヴィチ】
Shostakovich

弦楽四重奏曲 第13番
変ロ短調作品138
String Quartet No.13
in b-flat minor op.138(1970)

【ドヴォルザーク】
Dvořák

弦楽四重奏曲 第12番
ヘ長調作品96「アメリカ」
String Quartet No.12
in F-major op.96 "America"

※都合によりプログラムが変更になることがあります。



出演者

【第1ヴァイオリン】

荒井 英治

東京フィルハーモニー交響楽団
コンサートマスター

【第2ヴァイオリン】

青木 高志

東京フィルハーモニー交響楽団
コンサートマスター

【ヴィオラ】

小野 富士

NHK 交響楽団
フォアシュペーラー

【チェロ】

藤森 亮一

NHK 交響楽団
首席奏者

2000年2月5日(土) 15:00開演 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

●主催=財団法人びわ湖ホール ●入場料=一般4,000円/学生席2,500円(いずれも全席指定)◆学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております
◆6歳未満のお子様はご入場になれません ●チケット取り扱い◆びわ湖ホール TEL.077-523-7136 ◆チケットぴあ TEL.06-6363-9999

チケット好評発売中

弦楽四重奏の未来型 モルゴーア・クアルテット



それぞれがオーケストラや、その弦楽パートをリードして活躍する4人の男たちによって、1992年12月に結成された弦楽四重奏団“モルゴーア・クアルテット”。つまり、彼らは熟練した音の職人です。オーケストラ活動などとおして磨きあげたそれぞれの技を、弦楽四重奏ではより大胆に活かして、細部の彫琢に到るまで、余すところなくその腕前を披露しています。

20世紀ソヴィエトの巨人作曲家、ショスタコーヴィチが残した弦楽四重奏曲を中心にコンサート活動を展開し、全曲録音を目指しているCDもすでに3枚発表。彼らの鮮烈な演奏は、音楽界につねに衝撃を与え続けています。さらに、オーケストラ・メンバーの研修員として、'98年秋から1年間ウィーンに留学していたヴァイオリンの青木高志が、その研鑽の成果をたずさえて帰国。1年間の充電期間を経て、モルゴーア・クアルテットはますますパワーアップしています。

“モルゴーア・クアルテット”とは、エスペラント語で“明日への”という意味。その名が示すとおり、この4人の男たちの手にかかれば、21世紀の音楽シーンがもっと面白くなることまちがいないし。“モルゴーア・クアルテット”は、弦楽四重奏の未来型です。



Program

ベートーヴェン L.v.Beethoven

弦楽四重奏曲 第2番

ト長調作品18-2

String Quartet No.2 in G-major op.18-2

ショスタコーヴィチ Shostakovich

弦楽四重奏曲 第13番

変ロ短調作品138

String Quartet No.13 in b-flat minor op.138(1970)

ドヴォルザーク Dvořák

弦楽四重奏曲 第12番

ヘ長調作品96「アメリカ」

String Quartet No.12 in F-major op.96 “America”

※都合によりプログラムが変更になることがあります。

Profile

第1ヴァイオリン・荒井英治 (あらい えいじ)

1957年生まれ。桐朋学園大学出身。'73年、全日本学生音楽コンクール高校の部、全国第1位。'79年から新星日本交響楽団、'80年から'88年までは東京交響楽団、そして、'89年からは東京フィルハーモニー交響楽団、と長年にわたってコンサートマスターの重責を果たしてきている。協奏曲などオーケストラとの共演も多く、他に室内楽活動も活発であり、各地の音楽祭にもたびたび招かれている。

第2ヴァイオリン・青木高志 (あおき たかし)

1967年生まれ。'90年桐朋学園大学卒業。在学中'88年、第57回日本音楽コンクール入選。'90年、第60回読売新人演奏会に出演。'90年4月より東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターを務める他、ストリングアンサンブル“VEGA”のメンバー、又、室内楽奏者としても活発な活動を行っている。'98年8月より翌年9月までウィーンに留学。

ヴィオラ・小野富士 (おの ひさし)

1955年生まれ。'81年東京芸術大学卒業。同年7月から'85年12月まで東京フィルハーモニー交響楽団に副首席ヴィオラ奏者として在籍。'86年5月、第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で斎藤秀雄賞受賞。現在はNHK交響楽団ヴィオラ・フォアシューパーとして他、団の内外を問わず、室内楽奏者としても活発な活動を行っている。

チェロ・藤森亮一 (ふじもり りょういち)

1963年生まれ。1982年、東京音楽大学に入学。第29回文化放送音楽賞受賞。'83年、第52回日本音楽コンクールチェロ部門で第1位優勝。'86年、第21回東京国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で斎藤秀雄賞受賞。'87年、NHK交響楽団入団。'90年9月ミュンヘンに留学。'91年7月帰国。現在NHK交響楽団首席奏者。

2000年2月5日(土) 15:00開演

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

チケット
取り扱い

入場料＝一般4000円／学生席2500円
(いずれも全席指定)

- 学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております
- 6歳未満のお子様はご入場になれません
- びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136 (受付10:00～19:00)
- チケットぴあ TEL.06-6363-9999

【びわ湖ホール友の会】会員募集中!

お問い合わせ・お申し込み
財団法人びわ湖ホール事業部広報営業課 TEL.077-523-7137

滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 (代)
http://www.biwako-hall.or.jp/

●交通のご案内

- 京都から9分、大阪から39分、名古屋から60分 (JR利用・大津駅着)
- JR大津駅前よりバス約5分 (びわ湖ホール下車)
- JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より徒歩約15分
- 京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分
- 名神高速大津ICより約5分 (びわ湖ホール駐車場854台・有料)

